

科目名	社会科・公民科教育法Ⅱ	
担当者	原之園 政治 / HARANOSONO, Masaharu	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 後期 / 講義・演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	本科目は、中学校社会科・高等学校公民科の指導法について学習する。特に公民的分野と公民科（現代社会、倫理、政治・経済）における社会科・公民科の目標、指導内容、指導計画、指導方法について学習する。
	到達目標	(1) 学習指導要領に基づき、社会科・公民科の基本的な性格や指導目標・指導内容を理解し、多面的な教材研究や指導方法の実際について考察することができる。 (2) 学習指導要領に基づき、社会科・公民科の実践的授業展開を構想し、学習指導案を立案・作成することができる。 (3) 社会科・公民科の教材分析や学習指導案に基づいて模擬授業を行うことができる。
授業計画	(1) I 実践事例の検討 ①中学校社会科「公民的分野」 (2) ②高等学校公民科「現代社会」 (3) ③高等学校公民科「倫理」 (4) ④高等学校公民科「政治・経済」 (5) II 中学校社会科「公民的分野」の教材研究と模擬授業① (6) 教材研究と模擬授業② (7) 評価問題の考察 (8) III 高等学校公民科「現代社会」の教材研究と模擬授業① (9) 教材研究と模擬授業② (10) 評価問題の考察 (11) IV 高等学校公民科「倫理」の教材研究と模擬授業① (12) 教材研究と模擬授業②、評価問題の考察 (13) V 高等学校公民科「政治・経済」の教材研究と模擬授業① (14) 教材研究と模擬授業② (15) 評価問題の考察	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・使用教材や参考文献に基づき、さらに理解を深めること。 ・新聞記事等を活用して社会科教育について省察すること。
使用教材・参考文献	【教】伊東光晴ほか監修『高校現代社会 新訂版』実教出版 2007年 ISBN 9784407201123 斉藤 齊 監修 『中学社会 公民』教育出版 ISBN 4316200828 日本公民教育学会編著『テキストブック中学校・高等学校公民教育』第一学習社 2004年 ISBN 9784804075099 【参】白井嘉一 柴田義松 編著『社会・地歴・公民科教育法』学文社 2009年ISBN 4762019577	
成績評価方法と基準	〈基準〉社会科・公民科の基本的性格をふまえ、実際の授業場面に即した教材研究や指導方法、学習指導案の作成、模擬授業を行うことができることを合格の基準とする。 〈方法〉学習指導案作成・レポート（40%）、模擬授業発表（40%）、受講態度（20%）により総合的に判断する。	
備考	・教職をめざす意欲ある学生の受講を希望します。「社会科・公民科教育法Ⅰ」の履修した後に本科目を履修すること。	